

チーム ハイッぱっとりがわ



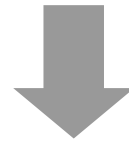
森田圭吾・木本 泉さん・石山温子さん

きっかけ（実践プランの背景）



森田「服部川で、施設をはじめて、2年になる。
地域の人たちにも、気軽に入出入りして欲しいが、
ほぼ誰も来てくれない。」

木本さん「ええまちアカデミーというのがあるよ。」



ええまちアカデミー入門編

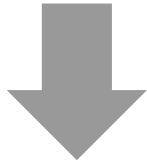


ええまちアカデミー実践編

きっかけ（実践プランの背景）

1回目オンライン顔合わせ

「餅つきじゃなくても、いいんじゃない？」



ハイツはっとりがわが、

「ただの住宅型有料老人ホームだけでなく、恒常的に人が出入りする場所」になること。

そのために、

- ・ 日常的なカフェの運営
- ・ 知ってもらうためのイベント
- ・ その第一弾として、餅つき大会。
- ・ 他にも折り紙教室や、運動教室などはどうか？
- ・ カフェ運営やメニューはどうするのか？

起こったこと・体験したこと

出来事

気づいたこと

案・行動・起こったこと

チームでの 話し合いや協力

- ・なにがしたいの？の深掘り
- ・ツールを使って気持ちの整理や言語化
- ・ご家族や近隣の方との交流
- ・お客さんとして、場所の利用

- ・なんとなく、できたらいいなあぐらい。
- ・単発で、思いつきの行動しかしていない。
- ・スタッフとの意識の共有もしていない。
- ・地域の方への挨拶、交流もしていない。
- ・カフェは、施設の人員配置の問題もある。

- スタッフに地域に開かれた施設にしたいという思いを再共有。
「ただの住宅型有料老人ホームだけでなく、
恒常的に人が出入りする場所」

餅つき大会

12/27

- ・ゆめプロさんメイン。大人子ども50名程
- ・地域の方は一人来てくれる。
- ・マジシャンも来て、にぎやかだが・・・

- ・入居者さんほったらかし。
- ・積極的には参加できないのでサポートが必要。
- ・水分補給や排泄などができていない。
- ・イベント時の入居さんへの配慮。

- ご家族の声
家族としても来やすい。人が出入りする施設になって欲しい。
- 近隣の方への挨拶。
介護経験あり。「相談できる場所があれば助かる」との声。
餅つきで快く場所を提供。「なんかあったらまた言うてや」
- 喫茶店のママさんと交流。
地域の話や折り紙教室の話を伺う。
お餅のお礼に、馬の折り紙の飾りをいただく。

レンタル スペース

1/2

- ・100歳越えのご夫婦のお祝い。親族15名
で利用。よかったという感想をもらう。
- ・スタッフからの一言。
「入居者さんにとっては生活の場」
「この人たちのプライバシーは？」
「あぁはなりたくないという目で見られた」
- ・親子で味噌作りイベントはお断り。

- ・反発するが、「確かにそうかも」。
- ・自分のゆっくりできる家に、たくさんの方が
入ってきたら嫌かも。
- ・自分の意識が、外ばかり向いていた？

- おむつフィッターの集まりで利用。
板の間なら利用者さんの生活を妨げないか？
来客時、入居者さんが掃き掃除や拭き掃除をしてくれる。
介護に理解があればおむつ交換も気にならないのでは？
- レンタルスペースは、一度、申込制を試したが、中止。
- カフェはしない方向（まだ迷い中）
人員基準で兼務不可、人件費の余裕なし。
→ セルフ形式 / 無料か？
→ 持ち込み・飲食可にして、場所提供のみでよいか？

感染症の蔓延

1/14～

- ・8名中7名が感染症。
(熱発、下痢、嘔吐。隔離対応)
- ・入居者さんもスタッフも大変

- ・いろいろな人に来てもらうことへの怖さ。
感染症のリスク。命にも関わる。
- ・ここは、あくまで、住宅型有料老人ホーム
(これが大前提)
- ・2年前と比べると徐々に心身面共に低下

- 介護に理解のある方や知人から、利用してもらう。
- ルールづくり（消毒、マスク着用など）
- ふらっと座れるベンチをいつも綺麗に。
- 地域の役に立ち、認知度向上（経営的にも）

起こったこと・体験したこと



10/11 ハイツはっとりがわにて



11/2 家族様と意気投合？

Y: やったこと	W: わかったこと	T: つぎ、どうする
<p>○「ハイツはっとりがわ」で過ごして見た 入所者ご家族と女子トークできた。 「ハイツはっとりがわ」スタッフの人と話をした。</p> <p>○「ハイツはっとりがわ」のこと、やりたいことを他の人に話してみた。 ・八尾のおむつフッター ・職場の人</p>	<p>○スタッフのふんば、施設さんがやりたいことが伝わってないことがわかった。 ・家族様をするところを知らない。 ・フォロー体制が整っていない。</p> <p>○スタッフのふんばは重要である。今の体制でいつまで保てるかという不安がある。定期的に変わる必要がある。定期的に変わる必要がある。定期的に変わる必要がある。</p> <p>○入居者のふんばを確保する。入居者のふんばを確保する。入居者のふんばを確保する。</p> <p>○入居者のふんばを確保する。入居者のふんばを確保する。入居者のふんばを確保する。</p>	<p>○まず、スタッフに社長がやりたいことを伝える。</p> <p>○施設費やイベントをするなら、人やお金や場所や物などをたよりに使えるのか、計画を立てて考えたい。</p> <p>○洗濯物をたかんでいる動物が魅力的と言われたけれど、日常にも魅力があるのかしらないか？</p> <p>○入居者が家のように過ごせ、家族も癒しになる環境を整えても良いかな？</p> <p>○身近な人にちょっとしたことを伝えるだけでなく、興味を持ってもらえる。そこから企業のアイディアがわく。協力者を発見し、参加者を募れるのかもしれない。</p>

はっきりしない思考を整理整頓。深掘り。言語化。

【近隣調査】	【内部調整】	【具体的】
<p>「春夏秋冬」前通りの利用者は？ 近隣店舗へ挨拶と情報収集 自治会等、地域の集まりへ参加 施設利用者やその家族の再取材</p>	<p>【スタッフへ、考えと目指す方向を説明、共有】</p> <p>○ハイツはっとりがわの1階スペース 春夏秋冬（ひとせ）がなりたい家（ハイツはっとりがわの役割～住人さんの笑顔やしあわせな時間につながる）</p> <p>人が入居している 2階の住人さんが「春夏秋冬（ひとせ）」出入りする人と話している 社会が繋がっている感がある。そんな場所になればいいな</p> <p>めざす家は共有・共感できたが、さらに実効性を伴ったところまでの認識共有、計画が必要</p> <p>【住人さん・住人ご家族へ、考えと目指す方向を説明、共有】</p> <p>○賛同の意見多く、住人自ら、できることに手をあげてくれる状態になっている</p>	<p>アイデア出し ～春夏秋冬（ひとせ）の活用と同時に、運営方法（特に人手不足を解消する方法）を兼ねたアイデアの検討</p>

2025年11～12月 2025年12月



12/27 ゆめプロさんと一緒に餅つき大会。大人子ども合わせて50名ほどの参加（ゆめプロさんのお客さん）。近所の方一人来てくれました。



12/26 餅つきのポスティング90枚。しっかり手伝ってもらいました。ベンチも綺麗に。

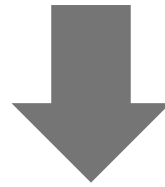


1/10 ちょこからさん。立ち上がってしっかり運動。



1/16 小学生がふらっとベンチに。

「ただの住宅型有料老人ホームだけでなく、恒常的に人が出入りする場所」になること。



「心地よい距離感で、ゆるやかにつながる」
(「おせっかい日本一」を掲げる八尾市の考え)

レンタルスペースはしないが、フリースペースとして、人の出入りは適度にあって欲しい。

①入居者ファーストであること、②地域の役に立つこと、③認知されること（経営的にも）

今後の取り組み

1 住宅型有料老人ホームとしての質を高める。

入居者さん・ご家族の満足度が一番。（運営基準も徹底）

施設っぽいと言ってもらえるが、質はどうか？

関わりや環境整備なども含めて、再度振り返り、見直しをする。

常時

2 看板をつくる。

看板がないので、外からではなにをやっているかはっきり分からない。

2月末

3 接客マニュアル（仮）

外部の方が来てくれた時の接客のマニュアルの改善

2月末

4 ちらし配布

ハイツはっとりがわを知ってもらうためのちらしの配布。

4月

5 定期的なイベントの開催

積極的に地域などをかかわるためのイベントの定期的な開催。

???

今後の取り組み

高齢者施設の1階を、 地域のコミュニティスペースとして。

みんなでわいわい、しゃべり場、たまり場、お一人での休憩、
合間のお仕事など、あまったスペースを自由に使ってください。



住宅型有料老人ホーム
ハイツはっとりがわ






ご利用いただける設備


wifi


コーヒー


マッサージ機


板の間


プロジェクター


コピー・印刷


マイク


多機能トイレ

※スペース・設備利用無料です。
一部有料：コピー・FAX：モノクロ1枚5円・カラー1枚10円（コピー・FAXだけのご利用も可能です）

「自宅の自由さと、施設の安全を半分ずつ」ハイツはっとりがわは、介護が必要な方の暮らしの場です。できるだけ自由で開けた施設を目指しています。介護が必要な方の生活の場であると、ご理解いただける方と「心地よい距離感で、ゆるやかにつながる」空間・地域を一緒に作ってもらえませんか。

住宅型有料老人ホーム ハイツはっとりがわ お問い合わせ先：072-975-6935
〒581-0895 八尾市服部川6-226 お気軽に覗いてもらってもOKです！

「心地よい距離感で、ゆるやかにつながる」
接客マニュアル 兼 環境整備等について

- 1) 外部の方が来られた際の挨拶について
 - ・挨拶は「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」を基本とする。
 - ・「いらっしゃいませ」は使用しない。
- 2) 来訪目的の確認について
 - ・来訪者には、まず要件（見学・フリースペース利用・その他）を確認する。
 - ・目的が不明な場合は、無理に案内せず、責任者に確認する。
- 3) 感染対策について
 - ・フリースペース利用、見学の方には、マスク着用の確認を行う。
 - ・必要に応じて、手洗い・手指消毒へ誘導する。
- 4) 洗面台・共有スペースの環境整備
 - ・洗面台は常に清潔な状態を保つ。
 - ・義歯ケース、口腔ケア用品、私物等が出たままにならないよう整理する。
 - ・来訪者の目に入る場所は、特に整頓を意識する。
- 5) 整理整頓・清掃について
 - ・「使える状態」ではなく「気持ちよく使える状態」を心がける。
 - ・不要な物は置かず、掲示物も必要最小限とする。
- 6) 利用時間、場所について
 - ・フリースペースの利用時間は 10:00～17:00 とする。基本は板の間の利用をする。
 - ・時間外の利用希望があった場合は、原則お断りし、判断は責任者に委ねる。
- 7) 関わり方・お手伝いについて
 - ・当施設は介護が必要な方の「生活の場」であるため、こちらから積極的な接客・お手伝いは行わない。
 - ・食べ物、飲み物の持ち込みは可能。
 - ・必要最低限の案内にとどめる。
- 8) 入居者さんへの配慮
 - ・入居者さんの生活・プライバシーを最優先とする。
 - ・写真撮影や立ち入りについて、気になる場合は必ず声かけ・確認を行う。
- 9) トラブル・判断に迷う場合
 - ・その場で判断せず、必ず責任者に相談する。
 - ・個人の判断で許可・約束をしない。
- 10) 基本姿勢
 - ・ここは「地域にひらかれた場」とすると同時に、「入居者さんの暮らしの場」であることを常に意識する。
 - ・心地よい距離感を大切に、無理のない関わりを心がける。

メンバー紹介・感想



森田 圭吾

色々と、あれしたい、これしたい、来て欲しいなどと言っていたが、基本的なことができていなかった。していなかったことに気付きました。今回のええまちアカデミーへ参加させてもらい、チームメンバーで話し合ったり、意見をもらったりして、考えや気持ちを整理することができました。一周まわって、外ばかりに意識をやらずに、もっと足元（入居者さん、ご家族、スタッフ、環境など）をしっかりと固めなさいということに気づかせてもらいました。ハイツはっとりがわは、住宅型有料老人ホームで、生活の場であることを一番に、「心地よい距離感で、ゆるやかにつながる」場所・地域を作って行きたいと思います。

木本 泉さん

同じ八尾市在住です。私の一言で「ええまちアカデミー」に引き込んだことから、応援メンバーに入れてもらいました。介護関係の集まりで何かしたいと話をするとただただ迷走しがちですが、考える道筋のアドバイスをしてくださる人がいて、動きながら色々感じ考えることが出来ました。とてもいい経験になりました。ありがとうございました。今回、なるべく足を運んで関わって、肌で感じて考えました。素敵なスタッフさん、入居者さん、ご家族さんと楽しくおしゃべりをして、施設らしくない施設に私が惹かれました。引き続き応援していきたいです。



石山 温子さん

人生の最終段階における住まい、住み方について、課題を感じていました。住人さん達が「地域に住んでいる」的な環境をつくっていきたい、と思ってやってみて、気づく、考える、また軌道修正して動く。という面倒くさい作業を自然にできてしまう「はっとりがわ」さんの活動に参加させていただき、めちゃめちゃ楽しかったです。実際の会話から、見つかる取り組みもいろいろあって、みなさまの行動力に感動しておりました！新しい住まい、住み方、暮らし方がまだまだ出てきてそうで、森田さんの頭の中を覗き続けたいです。